

松阪市民病院の在り方周知と地域説明会の状況について

1. 実施状況

【シンポジウム「地域医療を考える集い」】

開催日	令和5年10月9日（月・祝）
開催場所	松阪市産業振興センター
参加者数	64名

【住民説明会（各種団体対象）】

期間	令和5年11月1日～令和6年2月5日の間
実施件数	37件（日程は別項参照）
参加者数	計743名
対象者	住民自治協議会、自治会、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー、小中学校長、幼保園長、薬剤師会 等

【市民説明会（市民対象）】

開催日	令和6年1月21日（日）
開催場所	飯高地域振興局、三雲・天白公民館、松阪市産業振興センター
参加者数	計142名（飯高：26名、三雲：30名、産振センター：86名）

【イベント啓発（チラシ配布）】

実施日	令和5年11月19日（日）	令和5年11月26日（日）	令和5年12月3日（日）
イベント	いいなん・ふれあい祭り	松阪牛まつり	安全・安心フェスタまつさか
場所	飯南産業文化センター	ベルファーム	ベルファーム
配布部数	200部	300部	200部

【その他啓発等】

●松阪市及び松阪市民病院ホームページへの掲載

掲載日：令和5年11月17日（金）

掲載内容：院長からの説明動画、在り方検証委員会答申書やQ & A等の各資料

●チラシ各戸回覧（各自治会に依頼）

回覧時期：令和5年12月末～令和6年1月初旬

掲載内容：在り方検証委員会答申とQ & Aの概要、市民説明会（1月21日）開催案内

2. 住民説明会（各種団体対象）のアンケート結果について

◆回答数（R6.2.8時点）…356人（男性：274人、女性：77人、回答しない：1人）

年齢層	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答数	1	6	22	44	127	152

◆回答結果（問1、問2）

	よく分かった	まあまあ分かった	あまり分からなかった	分からなかった
機能転換・集約への理解	146	183	21	2
指定管理者制度への理解	116	194	33	9

※「よく分かった」と、「まあまあ分かった」の合計として、機能転換・集約への理解が93.5%、指定管理者制度への理解が88.1%という結果となった。

※一部、介護関係者などへの説明会ではアンケートを実施していない場合がある。

◆自由回答（問3）の主なもの

- ・指定管理制度で他病院との役割分担について説明を受け、体制が変化することは理解できました。今後は回復期の患者さんを中心に病床管理を行われる事と思いますが、病院の特徴としては、患者にやさしく、思いやりのある病院を目指していただきたいと思います。回復期の患者さんの支えになっていただき、患者の早期復調に努力していただきますようお願いしております。
- ・市民病院が回復期相当の部分を中心とした病院に変わっていただけるのは、5年、10年後の松阪を考えた時、本当にありがたいことです。地域に根差した医療、ぜひよろしく願います。
- ・機能分担を行い、効率的に運営していくことは賛成です。指定管理であろうと、残ることに意味があり、この地域の医療が守られていくであろうことにつながります。
- ・現在市民病院に通院している患者さんに対し、不安を抱かせないように、周知方法を徹底し、機能転換に向けて取り組んでいただきたい。
- ・主旨は理解できたが、説明が病院側の都合ばかりのように思える。もう少し使用側（市民）に立って、具体的に説明した方が、理解が得られるのではないか。病院を使う側にとって、現在と変わってからどのようになるのか、具体的に例をあげて説明した方が良いのではないか。主旨には賛同するが、分かりやすい、使用者の側に立った説明をお願いします。
- ・指定管理者制度についてよく分からないので、分かりやすく説明してもらいたかった。（メリット、デメリット等）
- ・3病院→2病院に変えることで診療時間（待ち時間）が長くないか？
- ・指定管理者制度を導入する必要性や意義について、よく理解することができませんでした。市民としては、必要な医療が必要な時に確実に受けられる医療体制の保証が絶対必須です。受診先を選択する際の判断材料として、病院の管理者についてはほとんど考慮せず、病院の医療が信頼できるかが重要です。指定管理者制度を導入してから、「こんなはずではなかった」と市民から思われたい体制にしてください。市役所の目先の短期的な都合や利益を優先する市行政の論理に陥らないよう十分配慮してください。
- ・指定管理者による経営や人事管理について、もっと分かりやすく説明してもらいたい。また、松阪市が、その後どのようにかわっていくのかの説明も分かりやすくしてほしい。

3. 市民説明会（市民対象）のアンケート結果について

◆回答数…124人（男性：72人、女性：50人、回答しない：2人）

年齢層	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答数	1	1	11	23	19	68

◆回答結果（問1、問2）

	よく分かった	まあまあ分かった	あまり分からなかった	分からなかった
機能転換・集約への理解	40	50	14	3
指定管理者制度への理解	36	49	15	6

※「よく分かった」と、「まあまあ分かった」の合計として、機能転換・集約への理解が84.1%、指定管理者制度への理解が80.2%という結果となった。

◆自由回答（問3）の主なもの

- ・指定管理が各分野で導入された10年程前から、この制度を利用して、本件の指定管理の病院か、急性期病床を中心とした市民病院は回復期相当病床を中心とした病院に導入できないか考えていた—市民としては、本当はもっと早い時期に市民病院にこの制度を利用できなかったのか残念ですが、今からでも遅くないから、この制度を導入して進めてほしい。
- ・松阪エリアにおける現状の医療課題について、よく理解できた。人員を確保する上でも、急性期と回復期のバランスをとり、松阪市全体としてさらに魅力的な医療エリアになることを期待しております。機能転換する上で様々な障害があるかもしれませんが、頑張ってください。
- ・医師、看護師、その他医療従事者の確保は大変困難だと思います。そのような中で、日々仕事いただき感謝です。本日の内容や、これまでの経緯は分かりませんが、高齢の方、お元気だった方、入院され治療が終わり、退院が可能と言われても、とても在宅では難しい状態で帰られることも多いと感じています。回復期に移っていただき、あらためて患者が望む在宅での生活が送れるよう、ご支援いただけることを心より望みます。
- ・せっかくの公立の病院があり、高度な医療が行われているのに残念に思います。
- ・市民病院は、現在の直営で地域包括ケア病床も増やし、急性期機能も維持していく総合病院として、市民が安心できる病院を目指していただきたいです。病人が同じ病院の中で必要な医療を受けられるよう、また市が国・県の方針をそのまま受けるのではなく、要望していくことを望みます。答申書の内容の方向は異議ありです。
- ・看護師の給与、ボーナスなど最終的には大きく差が出る。松阪市の住民は3病院があるので安心して生活できている。松阪市以外の周辺町村からも3病院に通院している状況も考えるべき。指定管理者制度になれば高度医療ができるなんて夢の話。事務をしている人はどうなるのか。たぶんクビになるだろう。市民病院はそのまま存続するべきである。
- ・現在の市民病院には家族の命を救っていただいた、信頼できる名医さんがいらっしゃいます。今後もお世話になれることを信じて、日常生活を送っておりますので、今後は大変不安です。松阪市の三大病院の中で、市民病院が一番患者に寄り添ってくださり、雰囲気も良いです。本当に残念です。急性期、回復期の医療を三大病院がそれぞれに体制を整えられませんか。やはり公立病院はこのまま残してほしいですし、どうして市民病院だけが経営形態を変更しなければいけないのでしょうか。一方的な説明ではなく、私達市民がより周知できるように、又納得できるように説明の機会を増やしていただきますようお願いしたいです。

4. 説明会日程

月	日	曜日	会議名	場所	参加者
11	2	木	地域包括支援センター運営協議会	福社会館	26
11	6	月	民生委員理事会	松阪公民館	14
11	8	水	住民自治協議会連合会会長会	松阪公民館	43
11	9	木	[機殿]住民自治協議会役員会	機殿地区市民センター	23
11	10	金	[東]自治会長会議	東地区市民センター	11
			[松尾]住民自治協議会役員会	松尾地区市民センター	24
11	14	火	[大石]自治会長会議	大石地区市民センター	7
11	16	木	[漕代]自治会長会議	漕代地区市民センター	10
11	20	月	[西黒部]自治会長会議	西黒部地区市民センター	7
			[宇気郷]住民自治協議会役員会	宇気郷地区市民センター	6
11	25	土	川井町老人会	川井町公会堂	12
			[朝見]自治会長会議	朝見地区市民センター	11
11	27	月	[松阪中央]住民自治協議会役員会	第一公民館	11
11	28	火	[飯南地区]住民自治協議会連絡会	飯南地域振興局	27
11	5	火	[射和]住民自治協議会運営委員会	射和地区市民センター	11
			[伊勢寺]住民自治協議会運営委員会	伊勢寺地区市民センター	23
12	6	水	[飯高地区]住民自治協議会ブロック会議	飯高保健センター	11
12	7	木	[阿坂]住民自治協議会役員会	阿坂農業構造改善センター	21
12	8	金	小中学校長会	嬉野公民館	67
			[徳和]住民自治協議会運営委員会	徳和地区コミュニティセンター	14
			[掃水]自治会長会議	櫛田地区市民センター	10
12	11	月	[港]住民自治協議会役員会	港地区市民センター	10
12	15	金	[松ヶ崎]住自協理事会	松ヶ崎地区市民センター	25
12	20	水	[嬉野地区]住民自治協議会連合会自治会部会理事会	嬉野保健センター	13
12	21	木	[神戸]住民自治協議会役員会	神戸地区市民センター	34
			松阪地区薬剤師会理事会	薬剤師会館	15
1	5	金	[大河内]住民自治協議会役員会	大河内地区市民センター	14
			[茅広江]住民自治協議会役員会	茅広江地区市民センター	10
1	11	木	[橋西]住民自治協議会全体会議	橋西地区市民センター	33
1	15	月	ケアマネージャー協会会議(ZOOM)	医師会館	59
			飯高管内民生委員連絡会議	飯高高齢者生活福祉センター	27
1	19	金	[幸]住民自治協議会運営委員会	幸公民館	10
1	21	日	市民説明会	飯高地域振興局	26
			市民説明会	三雲・天白公民館(三雲地域振興局)	30
			市民説明会	松阪市産業振興センター	86
1	22	月	[東黒部]自治会長会議	東黒部地区市民センター	9
1	23	火	第二地区民生委員児童委員協議会全体会	第二隣保館	14
1	26	金	公立合同園長会(幼保こども園)	福社会館	34
1	29	月	[花岡]自治会長会議	花岡地区市民センター	26
2	5	月	[第四]住自協運営委員会	鎌中地域交流センター	21

5. 意見等の総括

- ・住民説明会（各種団体対象）、市民説明会（市民対象）ともに、参加者は50歳代以上が大半であった。
- ・アンケート集計の結果、今回の「地域包括ケア病床を中心とした回復期への機能転換」と「2基幹病院のいずれによる指定管理者制度の導入」に関する説明内容については、8割以上が「分かった」又は「まあまあ分かった」という回答であった。
- ・肯定的な意見としては、これからの高齢化社会における回復期機能への期待などの意見がみられた。

例) 人員を確保する上でも、急性期と回復期のバランスをとり、松阪市全体としてさらに魅力的な医療エリアになることを期待している。
地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域連携をより深めてもらえることを望む。

- ・アンケートや説明会場での質疑応答では、今後の方向性について一定の理解を示すものの、さまざまな部分で不安を抱く意見もみられた。

例) 市内に3つの総合病院があるという安心感が失われてしまう。
救急輪番が2病院に減ってしまって、これから対応していけるのか。
急性期でなくなると、災害時に救急の受け入れはしなくなるのか。
通院しているが、機能転換後の診療科はどうなるのか。
市民病院の患者が他の病院に来ることで、外来の待ち時間が増えるのでは。
現在働いている職員の処遇はどうなるのか。

- ・“急性期や回復期”、“地域包括ケア病床”、“指定管理者制度”などの用語や、指定管理者制度自体が難しく理解できないため、やさしく丁寧な説明を求める意見も聞かれた。また、市民へのさらなる周知を行うべきとの意見もあった。

例) 資料を読むだけでは理解できないので、もう少し丁寧な資料づくりを。
具体的な実例を挙げて説明した方がよい。
メリットばかりでなく、デメリットも示してほしい。
市民への周知と納得を得るために説明会をもっと開催してはどうか。